



## 古墳時代の学習（2時間扱い）

### (1)本時のねらい

さいたま市にも古墳、古墳時代遺跡があることを知り、当時の人々の生活を考える活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で日本の歴史を理解する。さいたま市の地図を使い、さいたま市の地形と古墳との関連性を考えさせるとともに、地図の見かた、活用の仕方を再認識する。

さいたまの古墳とさきたま古墳群、さきたま古墳群と大和朝廷との関係を筋道だてて考えることができる。

### (2)展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点	評価	資料
導入	<p>&lt; 第1時 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に埴輪をさわって、「この埴輪は何のために作られたのか？土器との違いは？この時代はどんな様子だったのか？」などの発問に対し、小学校で学習した既得の知識を発表し合う。</li> <li>・さいたま市遺跡マップの古墳時代の遺物、遺跡にするしを付け、その分布からわかったこと、気付いたことをノートに書き、一人ひとりが課題を設定する。 例「なぜ、さいたま市の西側に古墳が作られたのか？」</li> <li>・設定した課題を発表し、教師の説明を聞く。</li> <li>・年表で古墳時代の出来事を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埴輪はさいたま市立博物館から借りてくる。</li> <li>・多くの生徒にテンポ良く発表させる。</li> <li>・既得の知識が本当に正しいのか、検証する授業を行う。</li> <li>・課題設定の仕方を学ばせる。</li> </ul>		<p>埴輪</p> <p>さいたま市遺跡マップ</p> <p>年表</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>『古墳が私達に語りかけることは？』</p> <p>～ さいたま市の古墳・さきたま古墳群からわかることは？ ～</p> </div>			
展開	<p>【さいたま市の古墳を知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市古墳レポーター（2グループ）が、地図や映像を交えながら調べたことを説明する。</li> <li>・レポートは2回行う。（1回目はメモをとらず、発表者を見ながら理解する。2回目はメモをとりながら話を聞く。）</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>レポート1、「側ヶ谷戸古墳群」担当の説明 特に、稲荷塚古墳…6世紀中頃、人物埴輪、馬形埴輪が出土 → 埴輪は、生出塚（鴻巣）で作られる さきたま古墳群にも供給</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>レポート2、「白鍬古墳群」担当の説明</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポーターは、土曜の午後に教師の引率のもとで現地調査を行い、発表原稿を作成する。</li> <li>・何を中心に調べるか、など事前指導をしっかりとしておく。</li> <li>・デジカメ写真など、生徒自ら必要なものを撮り、発表の際使用する。</li> <li>・「生出塚」は、粘土採掘坑、40基以上の埴輪窯跡、住居跡、など一大工業地であっ</li> </ul>		<p>さいたま市古墳マップ</p> <p>発表原稿</p> <p>【映像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・側ヶ谷戸古墳群</li> <li>・生出塚</li> <li>・白鍬古墳群</li> </ul>

展 開	<p>特に、白鍬塚山古墳... 5世紀後半、埴輪（県南では最も古い）の数が多い 近くで銅鏡が出土 →畿内で作られたもの ...大和王権との結び付き</p>	<p>たことにふれる。</p>	ワーク シート
ま と め	<p>レポートをする（2回、7分） わかったことをまとめる（2分） 質疑応答を行う。（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートを受け、さいたま市にも豪族がいたこと、さきたま古墳群との関係など教師のまとめを聞く。</li> </ul> <p>※ 『古墳時代の人々の生活の様子はどうだったろう！ ～弥生時代と変わったかな？～』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥生時代でも学習した「本村遺跡」の古墳時代の遺構、出土品を紹介し、そこからわかることをノートにまとめる。</li> </ul> <p>（出土例）竪穴住居にカマドがつくようになる 須恵器 ← のぼり窯で高温で焼かれる</p> <p>本時のまとめと次時の予告をする。</p>	<p>発表を聞き、わかったことを自分の言葉でまとめ、さらに学習を深めるための疑問を持つことができたか。 （理解・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川流域に古墳が多く残されている事実を踏まえ、当時のさいたま市の様子を理解させる。</li> <li>・一度は自分の目で古墳を見に行くよう、働きかけをする。</li> </ul> <p>【百聞は一見にしかず】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥生時代と変わらないこともあるが、少しずつ生活に変化が出てきたことに気付かせる。</li> </ul> <p>さいたま市の古墳時代について、理解を深められたか。 （思考）</p>	【映像】 本村遺跡
導 入	<p>&lt; 第2時 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先時の復習を5問クイズで行う。</li> <li>・本時のテーマ、キーワードを全員で復唱し、出てくる地名を地図で確認する。</li> <li>・年表で古墳時代の出来事を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポよく行い、本時の授業の意識付けとする。</li> <li>・改めて、発掘によって出土した物質資料から当時の生活がわかることを確認する。</li> </ul>	【映像】 さいたま市・埼玉 県 年表
展 開	<p>小テーマ 『稲荷山古墳が私達に語りかけることは何？ なぜ、文字の刻まれた鉄剣が埼玉の豪族の墓から出土したのか？』</p> <p>※ 1, 「稲荷山古墳はどの位の大きさなのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想をたて、発表する。</li> <li>・稲荷山古墳の大きさを学校の敷地に当てはめた資料を配り、点線をなぞる。</li> <li>・さきたま古墳群の資料を見て、わかったこと、疑問に思ったことをノートに書く。</li> <li>・さらに班で話し合い、考えを深める。</li> <li>・数班が発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古墳の大きさを実感させることで、古墳の主の権力の強大さを理解させる。</li> <li>・竪穴式石室と横穴式石室について簡単にふれる。 （稲荷山は竪穴式）</li> <li>・鉄剣の文字一つ一つの意味</li> </ul>	古墳の大きさを示す資料 【映像・資料】 さきたま古墳群

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲荷山古墳出土の「鉄剣銘」に焦点を当てる。</li> <li>映像で、稲荷山古墳の様子、鉄剣出土の石室の様子を知る。</li> <li>鉄剣名を見て、文字が刻まれていること、歴史的に重要な物であることを知る。</li> <li>どんな文字が読みとれるか、意味の分かる単語にをつけながら各自で読み進める。</li> <li>全員で読みながら理解する。</li> <li>a この鉄剣には、どんなことが書かれているか？</li> <li>b どんなことが読みとれるか？</li> <li>c オワケと大王との関係は？</li> <li>d なぜ歴史的に重要なものなのか？</li> <li>e 漢字が日本にあったわけは？ など考えていく。</li> </ul>	<p>など深入りはさける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班で話し合うことで教え合いが生まれ、物事の理解を深めさせる。</li> <li>・ 話し合いは、短時間で密度濃く行わせるため、事前にルールをきちんとしておく。</li> <li>・ 資料を写すのではなく、自分の言葉でまとめられるようにさせる。</li> <li>・ 熊本県「江田船山古墳」、鉄剣（東京国立博物館）の様子をそれぞれ映像で紹介する。</li> <li>・ 中国の歴史書から当時の日本の様子がわかることを説明する。</li> <li>・ ワカタケル大王の全国支配の様子を理解させる。</li> <li>・ 八幡山古墳は、石室の奥まで懐中電灯を片手に行くことができ、將軍塚古墳は、石室の様子を忠実に再現していることを説明する。</li> </ul> <p>さきたま古墳群との関わりで、大和朝廷の全国支配の様子をとらえ、自分の言葉でまとめることができたか。</p> <p>（理解・表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスメイトの考えを見ることで、自分の次回の考えを書く参考にすることができ、また、理解を深められる。</li> </ul>	<p>鉄剣の模倣品</p> <p>【映像】江田船山古墳と鉄剣</p> <p>【資料】倭王武の上奏文</p> <p>【映像】八幡山古墳・將軍塚古墳の石室内</p> <p>年表</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じような鉄剣が「江田船山古墳」からも出土していることを知る。</li> <li>・ その事実から、何がわかるか発表する。</li> <li>例 大王が東国だけでなく西国をも従えていた。</li> <li>・ 宋書を紹介し、ワカタケル大王（倭王武）の様子を知る。「昇明二年、上奏文……」</li> <li>・ ワカタケル大王は何のために宋に手紙を送ったのか、考える。 → 冊封体制</li> <li>※ 『古墳の埋葬部（石室）は、どのようになっているのか？』</li> <li>・ 横穴式石室である、八幡山古墳、將軍塚古墳の映像で詳しく知る。</li> <li>・ 小テーマ『なぜ、文字の刻まれた鉄剣が埼玉の豪族の墓から出土したのか？』についての答えを自分の言葉でまとめ、提出する。</li> <li>・ 年表中の古墳時代の出来事を、再度全員で確認し、次の時代の予告をして授業を締めくくる。</li> </ul> <p>次回、テーマに対する全員の考えを一枚のプリントにして配布する。</p>		

### (3) 訪問先及び資料の入手先

さいたま市立博物館、稲荷塚古墳（大宮区）、白鍬塚山古墳（桜区）、埼玉大学高久研究室、埼玉大学（本村遺跡）、さきたま古墳群＜稲荷山古墳、將軍塚古墳＞、八幡山古墳（行田市）、生田塚（鴻巣市）、江田船山古墳（熊本県）、東京国立博物館 など

**資料**

**稲荷塚古墳**

大宮西高の敷地内にある



出土 埴輪



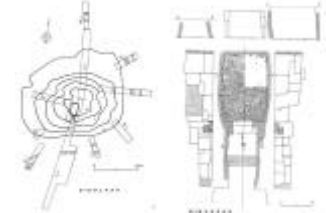
**<側ヶ谷戸古墳群>**

茶臼塚古墳

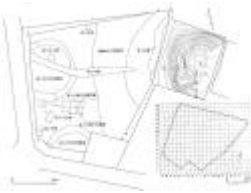
台耕地稲荷古墳



調査報告書



**白鍬塚山古墳 (住宅地の中にある)**



**生出塚遺跡 (鴻巣教育委員会の隣)**



生出塚で焼いた、埴輪はさいたま市の古墳・稲荷山古墳、さきたま古墳群に供給された

**さきたま古墳群**

稲荷山古墳 (前方後円墳) 鉄剣が出土した石室の復元



竪穴式石室



稲荷山古墳出土の鉄剣銘

江田船山古墳 出土 鉄剣 東京国立博物館



八幡山古墳

横穴式石室に入れる



本村遺跡（古墳時代）

<住居跡>

出土品（須恵器）

発掘の様子



かまど跡



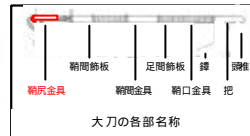
住居跡（土器出土）



<古墳跡>

埼玉大学内

太刀の金具とガラス玉



住居跡

本村遺跡の資料は、高久研究室所蔵